**再就職の経緯に関する御質問**

様式：R6.４.1～

**１．御自身の氏名等、離職・再就職の経緯概要、連絡先情報などを記載願います。**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①氏名等 | 氏名 | | | 生年月日・退職日(予定日)時点の年齢（※１） | | | |
| （ふりがな）　もんか　　　たろう  　　　　文科　　太郎 | | | S　　.　　.　（　　歳） | | | |
| ②離職・再就職の経緯概要 | 退職時の官職  （※２） | 退職日  （※３） | | 再就職日 | 再就職  約束日  （※４） | | 再就職先及び  再就職先での役職  （※５） |
|  | R . . | | R　.　. | R　.　. | |  |
| **＜現在､再任用職員である方は､こちらも記載願います＞** | | |
| 再任用の官職（現在の職） | 再任用の離職日 | |
|  | R　.　. | |
| ③連絡先  （※６） | 御自身の住所 | | 御自身の電話番号 | | | 御自身のE-mail アドレス | |
| 〒 | | ( ) | | | ＠ | |

※１　現在、再任用職員である方は、定年退職時の年齢を記載してください。

※２　「退職時の官職」は発令された正式な官職名（併任等も含む。）を記載してください。退職時の官職に実働期間がない場合（例えば、大臣官房付等に転任後即日退職したなどの場合）は、当該官職の前職も「（前職：●●）」などと記載願います。

なお、現在、再任用職員である方は、定年退職時の官職を記入のうえ、下段に再任用の官職（現在の職）を記載願います。

※３　退職日が確定していない場合は、「R2.X.X（予定）」として記載願います。

なお、現在、再任用職員である方は、定年退職日を記入のうえ、下段に再任用の離職日を記載願います。

※４　再就職先から内定等を得た日を記入願います。

※５　特に役職がない場合は、「○○株式会社事務職員」などと記載してください。

※６　退職後にも連絡を取ることができるメールアドレスを記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **＜管理職経験があり退職時に管理職以外であった方は、こちらも記載願います＞** | | |
| 退職時の俸給表 | 退職時の職務の級 | 退職時の俸級の特別調整額区分 |
|  |  |  |
| 最後に管理職であった時の俸給表 | 最後に管理職であった時の  職務の級 | 最後に管理職であった時の  俸級の特別調整額区分 |
|  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **＜現在、再任用職員である方は、こちらも記載願います＞** | | |
| 定年退職時の俸給表 | 定年退職時の職務の級 | 定年退職時の俸級の特別調整額区分 |
|  |  |  |
| 再任用の俸給表 | 再任用の職務の級 | 再任用の俸級の特別調整額区分 |
|  |  |  |

（　定年制職員の定年退職又は特定任期付職員・任期付研究員の任期満了退職以外により退職する／した方は、当該退職の種別及び理由について記載願います。現在、再任用職員である方は、さらに再任用の離職の種別及び理由についても記載願います。）

|  |
| --- |
| 退職の種別…（例：自己都合退職、応募認定退職など）  【再任用の離職の種別】（例：任期満了離職など）  退職の理由…（例：キャリア変更、家庭の事情、健康上の理由、職場の慣例など）  【再任用の離職の理由】（例；人事上のルールなど） |

（　退職日と再就職日の間が１ヶ月以内の場合、その理由を記載してください。）

|  |
| --- |
| ＜例：再就職先の雇用の都合による。＞ |

（　退職日の時点において、国家公務員の職とともに、他の企業・団体の職や事業との兼業をしている／していた場合、以下にお答えください。）

|  |
| --- |
| ①退職時に兼業している／していた職・事業への従事を、 |
| 退職後も継続する。　　　　退職後は継続しない。 |

|  |
| --- |
| **＜兼業している／していた職・事業を「退職後も継続する」方のみ、お答えください。＞** |
| ②今回の再就職届出で届け出る「再就職先」は、  　国家公務員退職時の兼業先であった職・事業である。  　国家公務員退職時の兼業先とは別の職・事業である。 |

補足：　在職中の兼業で就いていた地位に退職後も引き続き就任する場合であっても、新たな地位に就く場合と同様の再就職届出が必要となります。

**２．確認事項**

（１）再就職先について

|  |  |
| --- | --- |
| ①具体的職務内容（※７） |  |
| ②給与（該当するものにチェック（選択式）願います。） | 有給（年103万超（見込みを含む。））  　有給（年103万以下）  　無給 |
| ③勤務形態（該当するものにチェック（選択式）願います。） | 常勤  　非常勤 |
| ④非常勤での勤務である場合に、その勤務の頻度や曜日等 | ＜記載例：火・水・金曜日勤務、月５日程度の勤務＞ |

※７　再就職先の法人としての業務内容ではなく、御自身の具体的な職務内容を記載してください。

（２）再就職の経緯について

　次のうち該当するものを選んで、質問にお答えください。

・（２－１）再就職の経緯が公募である場合 【→4ページへ】

※例えば、再就職先のホームページや転職サイトを通じた公募など。

・（２－２）再就職の経緯が再就職先への直接の求職（公募を除く。）である場合 【→６ページへ】

　　　　　　　　　※　例えば、御自身で再就職先に直接求職の意思を伝達し、面接等を経て採用に至った場合、

転職エージェント等を媒介し、通常の公募への応募によるものとは異なる形で面接が設定

されるなどした場合など。

・（２－３）再就職経緯が再就職先からの直接勧誘である場合 【→７ページへ】

　・（２－４）再就職の経緯が（２－１）（２－２）（２－３）のいずれにも該当しない場合 【→9ページへ】

（２－１）再就職の経緯が公募である場合（※８）にのみお答えください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①公募方法 | ＜記載例：インターネット（転職サイト「△△△△」＞ | | | | | | |
| ②公募期間（※９） | ～ | | | | | | |
| ③公募されていた役職  （※9） |  | | | | | | |
| ④公募時の役職と実際に就く役職が異なる場合はその理由 |  | | | | | | |
| ⑤募集人数（※10） | 人 | | | | | | |
| ⑥応募人数（内公務員ＯＢ）（※11） |  | | 人 | （内 |  | | 人） |
| ⑦面接人数（内公務員ＯＢ）（※11） |  | | 人 | （内 |  | | 人） |
| ⑧採用人数（内公務員ＯＢ）（※11） |  | | 人 | （内 |  | | 人） |
| ⑨応募資格・要件・募集内容等 |  | | | | | | |
| ⑩応募日 | R　.　. | | | | | | |
| ⑪応募手段 | 郵送　　持参　　メール・webエントリー  その他（　　　　　　　） | | | | | | |
| ⑫書類審査・面接等、公募後の手続  （欄が足りない場合は、随時追加してください。） |  | 時　　期 | 相手先 | | | 手続内容 | |
| ア | R　.　. |  | | |  | |
| イ | R　.　. |  | | |  | |
| ウ | R　.　. |  | | |  | |
| ⑬公募していることを知った時期・経緯（時期については、なるべく年月日まで記載願います。） | （１）時期：  （２）知人による事前の公募情報提供の有無：  有　　　無  （３）経緯： | | | | | | |
| ⑭再就職先に応募した理由 | ＜記載例：○○分野に関心があった、採用条件が良かった＞ | | | | | | |
| ⑮再就職先以外の機関への求職活動状況等 | ＜記載例：○○業界の数社を検討していた＞ | | | | | | |
| ⑯現職職員の介在の有無 | 公募への応募や採用手続きにおいて現職国家公務員が介在したことが、  ある。　　ない。  　※御自身の認識として該当する方に、チェック願います。 | | | | | | |

※８　例えば、再就職先のホームページや転職サイトを通じた公募など。転職エージェント等を媒介し、通常の公募への応募によるものとは異なる形で面接が設定されるなどした場合には、（２－２）に記入願います。

※９　詳細に分からない場合は、おおよその期間を記入願います。

※10　公開されていない場合は、「不明」と記載願います。

※11　詳細な人数が分からない場合でも、複数名いることがわかる場合は、「●名程度」「複数名」などと記載ください。全く分からない場合は「不明」と記載願います。

　（２－２）再就職の経緯が再就職先への直接の求職（公募を除く。）である場合（※12）にのみお答えください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①求職方法 | 誰にどのようにして求職を行ったのか記載願います。記載に当たっては、相手方の御氏名、役職、元文部科学省職員であるか否かも明示願います。 | | | |
|  | | | |
| ②求職日（※13） | R　.　. | | | |
| ③書類審査・面接等の手続  （欄が足りない場合は、随時追加してください。） |  | 時　　期 | 相手先 | 手続内容 |
| ア | R　.　. |  |  |
| イ | R　.　. |  |  |
| ウ | R　.　. |  |  |
| ④当該再就職先が職員を募集していることを知った時期と経緯（時期については、なるべく年月日まで記載願います。） | 時期：  経緯： | | | |
| ⑤あなたが再就職先に求職した理由 | ＜記載例：○○分野に関心があった、採用条件が良かった、○○の関係があり再就職先の人事担当者と知り合いであった＞ | | | |
| ⑥再就職先以外の他の求職活動状況等 | ＜記載例：○○業界の数社を検討していた＞ | | | |
| ⑦現職職員の介在の有無 | 求職や採用手続きにおいて現職国家公務員が介在したことが、  ある。　　ない。  　※御自身の認識として該当する方に、チェック願います。 | | | |

※12　例えば、御自身で再就職先に直接求職の意思を伝達し、面接等を経て採用に至った場合や、転職エージェント等を媒介し、通常の公募への応募によるものとは異なる形で面接が設定されるなどした場合など。

※13　再就職することを目的として、御自身に関する情報を再就職先に提供したり、再就職先における地位に関する情報の提供を依頼したりした最初の日を記載願います。

（２－３）再就職経緯が再就職先からの直接勧誘である場合にのみお答えください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ①勧誘者（※14）の氏名、役職・職名等について  （※15） | 【氏名１：　　　　　　　　】  （所属・役職：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （自身の前任者に該当するか否か：該当する　　該当しない　）  （既に当該再就職先を退職している場合の退職日：　　　　　　）  （文科省OBに該当するか否か：該当する　　該当しない　）  （文科省OBである場合の退職日：　　　　　）  （文科省OBである場合の退職時官職：　　　　　）  【氏名２：　　　　　　　　】  （所属・役職：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （自身の前任者に該当するか否か：該当する　　該当しない　）  （既に当該再就職先を退職している場合の退職日：　　　　　　）  （文科省OBに該当するか否か：該当する　　該当しない　）  （文科省OBである場合の退職日：　　　　　）  （文科省OBである場合の退職時官職：　　　　　） | | | |
| ②勧誘者があなたの退職又は退職予定であることを知った経緯 | その勧誘者はあなたが退職したことをいつどのように知ったのですか。（分かる範囲でお答えください） | | | |
|  | | | |
| ③勧誘者との関係性について | 頻繁に連絡を取り合う仲か、今回の再就職の紹介が数年ぶりだったのか等、その勧誘者との関係性について簡潔に記載願います。  ※特に連絡を取り合う関係でなかった場合、その勧誘者がどのようにあなたの連絡先を入手したのか、分かる範囲で記載願います。 | | | |
|  | | | |
| ④勧誘者があなたに再就職先を紹介した理由 | 勧誘者は、なぜあなたを再就職先に適任と思ったのか、分かる範囲で記載願います。 | | | |
| ＜記載例：○○という職歴、経験が再就職先の業務内容と関連しており、勧誘者も私の職歴を把握していたため、知見を求めて勧誘があったと聞いている。＞ | | | |
| ⑤勧誘を受けた日 | R　.　. | | | |
| ⑥ ⑤の連絡方法 | 対面　　職場連絡先への連絡　　個人連絡先への連絡  その他（　　　　　　　）  　補足：  　　※　職場連絡先への連絡の場合は交換台を通しての電話か、直通かなど | | | |
| ⑦勧誘者からの勧誘後の採用までの手続 |  | 時　　期 | 相手先 | 手続内容 |
| ア | R　.　. |  |  |
| イ | R　.　. |  |  |
| ウ | R　.　. |  |  |
| ⑧あなたが勧誘を受けた理由 | ＜記載例：○○分野に関心があった、採用条件が良かった＞ | | | |
| ⑨再就職先以外の他の求職活動状況等 | ＜記載例：○○業界の数社を検討していた＞ | | | |
| ⑩現職職員の介在の有無 | 求職や採用手続きにおいて現職国家公務員が介在したことが、  ある。　　ない。  ※御自身の認識として該当する方に、チェック願います。 | | | |

※14　「勧誘者」とは、再就職先からの直接勧誘を行った者をいいます。採用業務そのものとして勧誘を行った再就職先の代表者や採用担当者のみならず、再就職の採用担当者以外や、再就職先に所属してない者が勧誘してきたものも含みます。

なお、（３）の項目で「援助者等」という言葉も出てきますが（※16参照）、「勧誘者」と指すものが異なりますのでご注意ください。

※15　勧誘者の役職・職名については、勧誘があった当時のものをご記載ください。

（２－４）再就職の経緯が（２－１）（２－２）（２－３）のいずれにも該当しない場合（※16）、どのようにして再就職先の存在や職員等の募集を知り、いつ、どのような手順を経て再就職したかなど、その　経緯を記載願います。

※16　例えば、現在既に勤務している再就職先において契約更新・変更がある場合など。

|  |  |
| --- | --- |
| ①再就職に至る経過 | (１)再就職先の存在や職員募集を知った時期・経緯：  (２)採用決定までの経過：  ※時期・経過については、年月日まで記載願います。 |
| ②あなたが再就職の承諾をした理由 | ＜記載例：○○分野に関心があった、採用条件が良かった＞ |
| ③再就職先以外の他の求職活動状況等 | ＜記載例：○○業界の数社を検討していた＞ |
| ④現職職員の介在の有無 | 求職や採用手続きにおいて現職国家公務員が介在したことが、  ある。　　ない。  ※御自身の認識として該当する方に、チェック願います。 |

（３）再就職の援助（官民人材交流センターによるものを除く。）（※17）についてお答えください。複数から援助を受けた場合は、どの援助者等（※18）についてかを明記した上で全て御記入していただきますようお願いします。

**（２）と重複し得る内容もありますが、確認すべき観点が異なるため、こちらの御記入もお願いします。**

※17　再就職先の代表者や採用担当者が、採用業務そのものとして行った場合を除き、例えば、第三者から、再就職先に関する情報の提供（求人ポスト、採用担当者の連絡先等）、再就職先への推薦（推薦状の作成等）、再就職先採用担当者との面談の設定、再就職先への提出書類の記載等におけるアドバイスなどを得る場合をいいます。再就職先の人であっても、採用業務として行う場合以外は、就職の援助に該当します。

※18　「援助者等」には、再就職の援助（官民人材交流センターによるものを除く。）を行った個人又は団体を指す。民間の転職支援事業者（いわゆる「転職サイト」など）も含みます。その場合、②では「カ：その他」を選択の上、事業者名を記入願います。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①援助の有無 | | 再就職の援助（官民人材交流センターによるものを除く。）が、  あった。　　なかった。 |
| 上記で「あった」を選択した場合 | ②援助者等について | 再就職の援助を行った個人又は団体について記載願います。  （該当するもの全てにチェック願います。）  ア：文部科学省在籍職員  イ：文部科学省元職員  （退職日：　　　　　）  （退職時官職：　　　　　）  ウ：学生時代の友人等  エ：仕事の関係者（取引業者、業務委託先等）  オ：再就職先所属者  （役職：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （自身の前任者に該当するか否か：該当する　該当しない））  （既に当該再就職先を退職している場合の退職日：　　　　　　）  カ：その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 援助者等の御氏名又は名称を記載願います。  ※　全員分を記載願います。複数人いる場合、上記ア～カのどこに該当するかも記載ください。 |
| 氏名又は名称： |
| その援助者等が、職員等の募集を知っていた理由を記載ください。  **※その援助者等が「オ　再就職先所属者」に該当する場合は、回答不要** |
|  |
| ③援助者等があなたの退職又は退職予定であることを知った経緯 | その援助者等はあなたが退職又は退職予定であること知っていた場合、それをいつどのように知ったのですか。報道で知った場合は、具体的な媒体名も記載ください。 |
|  |
| ④援助者等との関係性について | 頻繁に連絡を取り合うのか、今回の再就職の援助が数年ぶりだったのか、その援助者等との関係性について簡潔に記載願います。  ※特に連絡を取り合う関係でない場合、その援助者等がどのようにあなたの連絡先を入手したのか、分かる範囲で記載願います。 |
|  |
| ⑤援助者等があなたに再就職先を紹介した理由 | 援助者等は、なぜあなたを再就職先に適任と思ったのか、分かる範囲で記載願います。  **※当該援助があなたを再就職先に紹介するものでない場合は、回答不要** |
| ＜記載例：○○という私の職歴・経験が再就職先の業務内容と関連しており、援助者も私の職歴を把握していたため、知見を求めて勧誘があったと聞いている。＞ |
| ⑥援助の連絡があった日 | R　.　. |
| ⑦ ⑥の連絡方法 | 対面　　職場連絡先への連絡　　個人連絡先への連絡  その他（　　　　　　　）  補足（職場連絡先への連絡の場合は交換台を通しての電話か、直通かなど）： |
| ⑧援助を受けた時期及び内容 | R　.　. |
| ⑨現職職員の介在の有無 | 援助において現職国家公務員が介在したことが、  ある。　　ない。  ※御自身の認識として該当する方に、チェック願います。 |

（４） ①退職時の所属・官職、②その前職及び③前々職（出向先を含む。）について、それらの職務の具体的内容、再就職先との間の利害関係の有無を記載願います。

なお、「①退職時の官職」に実働期間がない方（大臣官房付等に転任後即日退職した方など）は、さらに④前々々職までの記載をお願いします。

※　官職については、発令された正式な官職名（併任等も含む。）を記載してください。

※　利害関係の有無については、職員の退職管理に関する政令第4条の規定に基づき、①～④の職務において、再就職先との間で、同条に定める事務（契約の締結等、補助金等の交付、許認可等、不利益処分、立入検査・監査・監察、行政指導など。下記参照）に携わったことがなかったか等を御確認のうえ、「有」・「無」を選択してください。

**＜職員の退職管理に関する政令第4条に規定される利害関係＞**

○御自身の職務内容において、当該再就職先が以下に該当する場合は利害関係が「有」となります。

・ 再就職先は、許認可等を受けて事業を行っている（行っていた）、又は許認可等を申請（しようと）している（していた）。

・ 再就職先は、補助金等の交付を受けて事業を行っている（行っていた）、又は補助金等の交付を申請（しようと）している（していた）。

・ 再就職先は、検査等（立入検査、監査又は監察）を受けている（受けていた）、又は受けようとしている（受けようとしていた）。

（注）御自身が実際に検査等に入ることがない場合であっても、検査等の方針及び実施計画の作成に関する事務に携わっている（携わった）場合には、利害関係「有」に該当します。

・ 再就職先は、不利益処分をしようとする場合に名宛人となるべき営利企業等である。

・ 再就職先は、行政指導により一定の作為・不作為を求められている（求められていた）。

・ 再就職先と契約（電気・ガス・水道等を除く）を締結している（締結していた）、又は、再就職先は契約の申込みを（しようと）している（していた）。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ① | 退職時の所属・官職（※19） | 在職期間 | 職務内容 |
|  | R 年 月 日  　～R 年 月 日 |  |
| 当該官職と再就職先との利害関係の有無 | | |
| 有　　　無  ※「有」を選択した場合は、具体的な利害関係について記載してください。  ＜記載例：  ・　「△△△△」補助金を支出していた。＞  ※「無」を選択した場合は、その根拠について記載してください。  ＜記載例：  ・　職員の退職管理に関する政令第4条に規定される利害関係が生じる事務を所管していなかった。  ・　○○の事務を所管しているが再就職先が相手になることはなかった。  ・　当該職は、国家公務員ではないため、国家公務員法第106条の3に定める「在職中の求職規制」の対象外となり、職員の退職管理に関する政令第4条に定める利害関係を考慮する必要はない。  ・　転任後の翌日に退職したため、当該官職における実働はなし。　　　　　　　　　　　　　　　　　＞ | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ② | ①の前職における所属・官職（※20） | 在職期間 | 職務内容 |
|  | R 年 月 日  ～R 年 月 日 |  |
| 当該官職と再就職先との利害関係の有無 | | |
| 有　　　無  ※「有」を選択した場合は、具体的な利害関係について記載してください。  ※「無」を選択した場合は、その根拠について記載してください。 | | |
| ③ | ①の前々職における所属・官職（※20） | 在職期間 | 職務内容 |
|  | H 年 月 日  ～H 年 月 日 |  |
| 当該官職と再就職先との利害関係の有無 | | |
| 有　　　無  ※「有」を選択した場合は、具体的な利害関係について記載してください。  ※「無」を選択した場合は、その根拠について記載してください。 | | |

　　　※19　定年退職により退職された方（定年退職後、再任用された方を含む。）は、定年退職時の官職を記入してください。

なお、記入時点において在職中等のため退職時官職が未定である場合は、「・・・（予定）」と記載願います。

※20　前職・前々職に実働期間がない場合（例えば、大臣官房付等に転任後、翌日さらに転籍したなど）は、当該官職の記載は省略し、その前の官職を記載願います。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **＜「①退職時の所属･官職」に実働期間がない方（大臣官房付等に転任後即日退職した方など）は、**  **こちらも記載願います。＞** | | | |
| ④ | ①の前々々職（所属・官職）（※21） | 在職期間 | 職務内容 |
|  | H 年 月 日  ～H 年 月 日 |  |
| 当該官職と再就職先との利害関係の有無 | | |
| 有　　　無  ※「有」を選択した場合は、具体的な利害関係について記載してください。  ※「無」を選択した場合は、その根拠について記載してください。 | | |

※21　①に加え②又は③にも実働期間がない職が含まれる場合、又は前々々職に実働期間がない場合には、さらに前々々職より前の官職を記載願います

（６）文部科学省本省（文化庁等の外局、施設等機関及び特別の機関を含む。）在職時に、利害関係企業等（現に再就職した企業等であるか否かを問わない。）に対し、自己に関する情報を提供したことや、当該営利企業等やその子会社などの地位に関する情報提供を依頼したこと、あるいはそれらの地位に就くことの要求又は約束をしたことはありませんでしたか。

|  |  |
| --- | --- |
| ①在職時の求職活動 | 利害関係企業等（※22）に対し、自己の情報の提供や、地位に関する情報提供の依頼、又は地位に就くことの要求・約束を、  したことがある。　　したことはない。 |

※22　『国家公務員が知っておかなければならない「再就職に関する規制」と「再就職情報の届出制度」』（内閣官房内閣人事局作成）p.５を参照。（下記URL）

<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/files/r050712saishushoku.pdf>

|  |  |
| --- | --- |
| **＜「したことがある」方は、こちらも回答願います。＞** | |
| ②承認手続の  有無 | 再就職等監視等委員会による求職活動規制の例外承認を得たうえで、しましたか。  　得た上で行った　　　得ずに行った |
| ③「したこと」の内容 | 具体的に、どのようなことをしましたか。  ア：自己に関する情報を提供した  イ：再就職する地位に関する情報提供を依頼した  ウ：再就職させることについて要求・依頼した |
| ④｢したことがある｣時期 | 「したことがある」時期はいつですか。（年月日まで記載願います。）  時期：R　　年　　　月　　日 |
| ⑤「したことが  ある」相手方 | 上記をしたときの情報提供先又は依頼・要求先は、どこですか。  今回の再就職届出で届け出た再就職先（上記「１．」に記載した再就職先）  その他の相手方  （相手方の名称；　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （具体的な経緯；※再就職先以外の相手方への情報提供、依頼・要求の経緯など　） |

（７）再就職先での貴方のポストにおける前任者の状況について記載お願いいたします。

|  |  |
| --- | --- |
| ①前任者の有無  （※23） | 有　　無　　不明 |

※23　前任者については、同じ業務をしていた者を指すものとします。職名が同じ方であっても異なる業務を行っていた者であれば前任者には当たらないとお考えください。またその逆に、職名が異なる方であっても貴方と同じ業務を行っていた者がいれば前任者になるとお考えください。

|  |  |
| --- | --- |
| **＜前任者が「有」の方は、こちらも回答願います。＞** | |
| ②前任者が国家公務員OBに該当するか否か | ☐該当する　　☐該当しない  （OBである場合の氏名：　　　　　）  （OBである場合の退職日：　　　　　）  （OBである場合の退職時官職：　　　　　） |
| ③前任者が再就職先を退職した日 | R　.　. |

御協力ありがとうございました。

情報提供頂いた内容については、第三者からなる再就職コンプライアンスチームにおいて点検のうえ、不明な点がある場合等には、さらに必要に応じ、確認等のための御連絡をさせていただくことがあります。